

経営・ESG

2024年7月31日

プロジェクター事業等の戦略的資本提携および新会社設立について
～当該事業のさらなる成長を目指して～

パナソニック コネクト株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 執行役員プレジデント・CEO：樋口 泰行）は、プロジェクター事業等（以下、「当該事業」）に関して、オリックス株式会社（本社：東京都港区、取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO：井上 亮、以下、「オリックス」）と戦略的資本提携に関する契約（以下、「本件資本提携」）の締結について、本日のパナソニック ホールディングス株式会社 取締役会にて決定されましたので、以下の通りお知らせします。

1. 概要

新会社は当社のメディアエンターテインメント事業部を母体として設立し、当該事業の更なる成長を目指します。新会社については、オリックスが80%、当社が20%の株式を保有する予定となっており、資本提携後も、パナソニックブランドは継続し、新会社も当面の間、パナソニックを冠した社名が付けられます。

2. 背景および目的

当社の当該事業（業務用プロジェクター・ディスプレイ）は、1975年CRTプロジェクターの商品化以来、独自のデバイス制御技術*1を生かした多くの製品を発売し、これまで約50年にわたり、国内外のお客様から信頼を獲得してまいりました。高輝度プロジェクター市場でグローバルトップシェア*2を有するなど、映像ソリューションビジネスでの確固たる地位を築いています。

一方で、当該市場においては、ハードウェアに加えソフトウェアの重要性がさらに増し、イマーシブ（没入型）テクノロジーなどの応用技術の台頭等により、競争環境の著しい変化に直面しています。今後、当該事業の非連続な成長・拡大を実現させるためには、事業運営の強化と継続した投資が極めて重要となります。

こうした中、当社とオリックスは、当社が持つ技術力及び顧客基盤と、オリックス

が持つ投資力並びに製造業や大企業を含む多数の企業への事業投資を通じて培った知識と経験を活用することで、更なる成長を実現できるものと判断し、本資本提携を決定しました。今回資本提携を決定したオリックスは、多角的金融サービス業を展開する事業会社であり、中長期的な視点に立った事業運営に取り組んでいます。今回の資本提携により、オリックスの豊富な事業投資の実績を生かし、ハードウェア技術への継続的な技術開発投資や、グローバルでの戦略的アライアンス構築等、非連続な成長戦略の構築と実行を目指します。

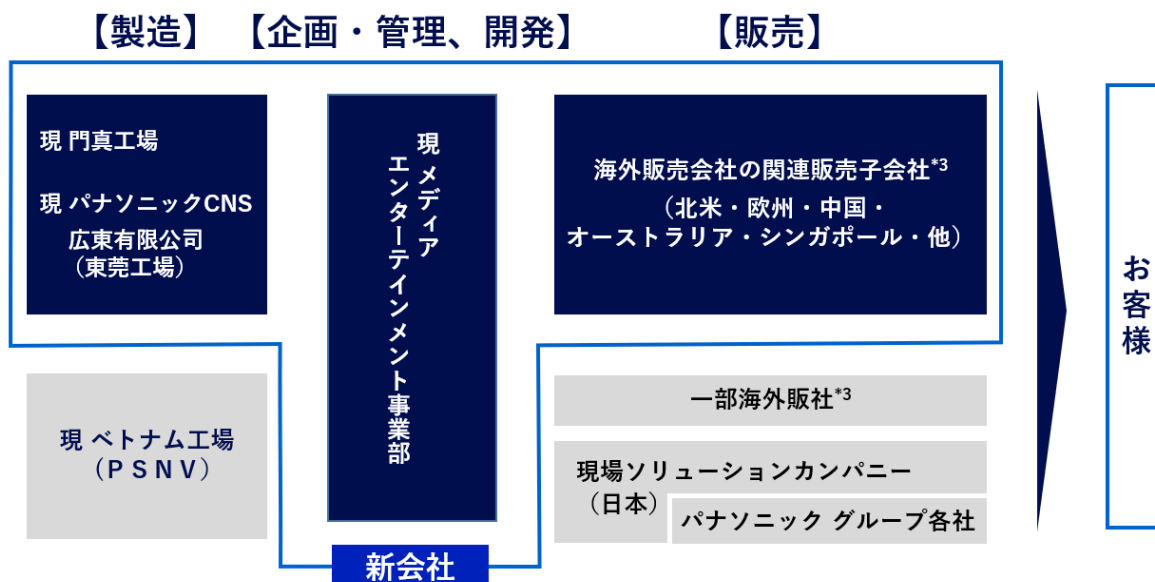
* 1: 小型・軽量、高輝度・高画質のプロジェクターを実現するコアデバイスの細かな制御技術

* 2: 出典：PMA PMA_2023CYQ2_WorldwidePJ Census Revenues, Pro のみ、D-Cinema 除く、10,000lm 以上、販売金額

3. 新会社について

新会社は当社のメディアエンターテインメント事業部を母体とし設立します。海外については、北米、欧州、中国、オーストラリア、シンガポール他の販売機能を継承した新たな会社・支店等を設立し、新会社の子会社とします。

日本国内においては引き続き当社の現場ソリューションカンパニーが販売機能を担います。



* 3: 新会社設立に際し、対象となる海外販売会社は現在協議中です。

発足日	2025年4月1日予定 本件資本提携は、関係当局における承認等が得られること等の前提条件が充足されることを条件に、2025年4月1日に実行する予定です。
株主	オリックス株式会社 (80%) パナソニック コネクト株式会社 (20%)
主要事業	プロジェクター事業 フラットパネルディスプレイ事業

※ 本取引に伴い設立される SPC（特別目的会社）が新会社の株式の 100%を保有し、オリックス株式会社及び当社は当該 SPC のそれぞれ 80%および 20%を保有する予定です。

4.オリックス株式会社について

設立年月日	1964年4月
代表者	取締役 兼 代表執行役社長・グループ CEO 井上 亮
株主資本	3,941,466 百万円 (2024/3 時点、米国会計基準)
所在地	〒105-5135 東京都港区浜松町 2 - 4 - 1 世界貿易センタービル南館
ウェブサイト	https://www.orix.co.jp/grp/